

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（平成 30 年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 石川県

ア 取組の支援についての自己評価結果	
項目名	
介護給付適正化の推進	
目標を設定するに至った現状と課題	<p>今後ますます高齢者人口が増えることに伴い、要介護認定者も増えることが見込まれており、介護保険制度の持続性及び公平・公正性を高める観点から、県においては市町（保険者）が行う介護給付適正化事業の取り組みを支援していく必要がある。</p> <p>一方で市町によっては、主要 5 事業（①要介護認定の適正化、②ケアプランの点検、③住宅改修、福祉用具実態調査、④医療情報との突合・総覧点検、⑤介護給付費通知）の一部しか実施していない場合や、事業を既に実施していても取組内容には差がある状況である。</p>
取組の実施内容、実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定調査員現任研修（H30. 8. 28） 要介護認定において公平・公正かつ適切な審査が行われるよう、認定調査に従事する市町職員等を対象として研修会を開催した。</li> <li>・ 介護認定審査会委員研修（H31. 1. 13～2. 3 県内 4 圏域で実施） 要介護認定において公平・公正かつ適切な審査が行われるよう、介護認定審査会委員を対象として研修会を開催した。</li> <li>・ 介護予防事業担当者研修（H31. 3. 11） 効果的なケアプラン点検及び自立支援・介護予防の観点から行う地域ケア会議の円滑な事業推進のために、課題整理総括表の活用について知識を深めた。</li> </ul>
自己評価	<p>県の計画には、数値目標を設定していないが、2020 年度までに、全保険者が主要 5 事業全てに取り組みと見込まれる。</p>

イ 管内保険者の自己評価結果の概要	
	<p>ケアプラン点検を数値目標に記載している保険者に関しては、概ね数値目標を達成しているため自己評価結果は高いが、ケアプラン会議の開催を目標に掲げている保険者に関しては、会議の質の向上（情報共有のあり方、職員の資質向上等）を課題に挙げている保険者が見られた。</p>

ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）	
	<p>一部の事業については、未実施の保険者がなお存在しているため、未実施保険者が事業を実施し、また実施保険者についても、点検数の増加により給付の適正化に繋がるよう、県や県国民健康保険団体連合会の連携により引き続き保険者の強化が必要である。</p>